

## 令和5年度 学校運営に関する評価の結果と考察

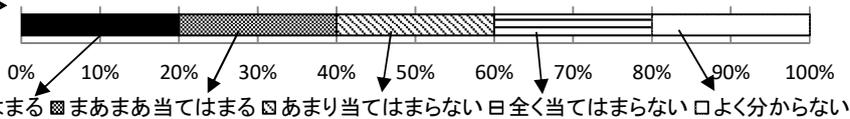
萌芽の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました令和5年度の学校運営に対する保護者アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。皆様から寄せられたご意見とともに、児童の生活アンケート・教職員の自己評価、また、一部の項目については地域の方々からいただいた評価も加えてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、評価から見てきた課題については改善策を立て、来年度の学校運営に生かしてまいります。今後ともご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

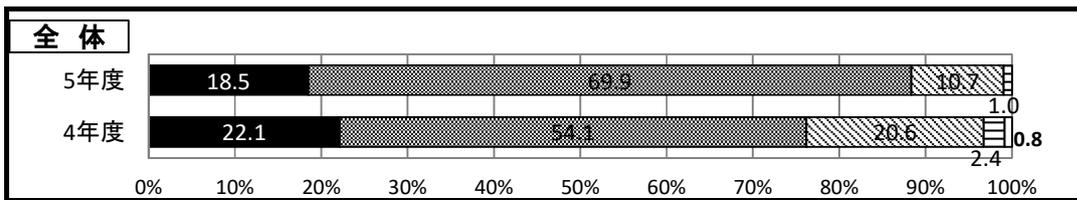
★ 各グラフの標記については、下の凡例を参考にしてください。

### <凡例>

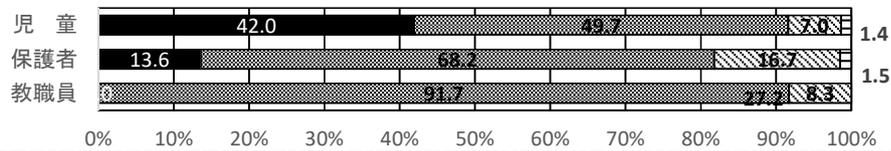


### 1 重点目標について「自分の考えや思いを持ち、自分なりに考える子供の育成」

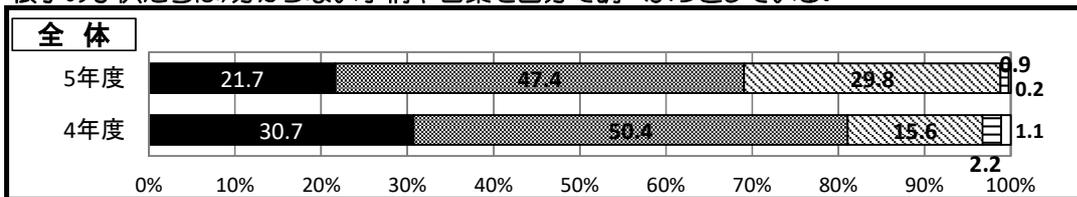
① 根小の子供たちは、伝えたいことがよく分かるように考えをまとめたり工夫して伝えたりしている。



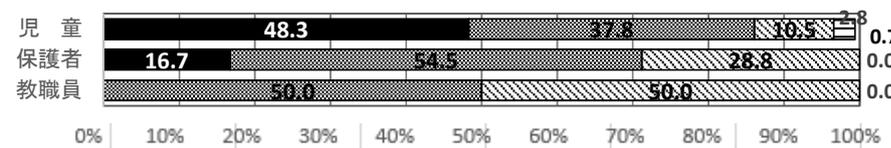
### <R5年度内訳>



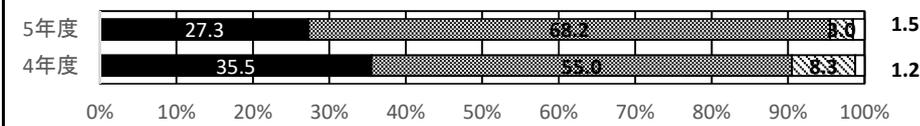
② 根小の子供たちは、分からない事柄や言葉を自分で調べようとしている。

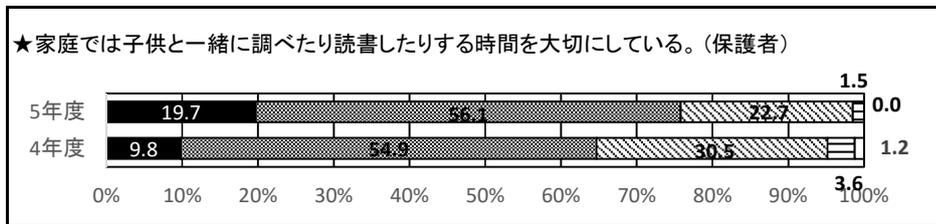


### <R5年度内訳>

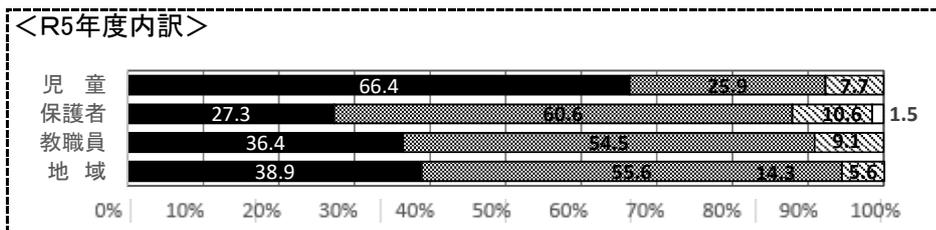
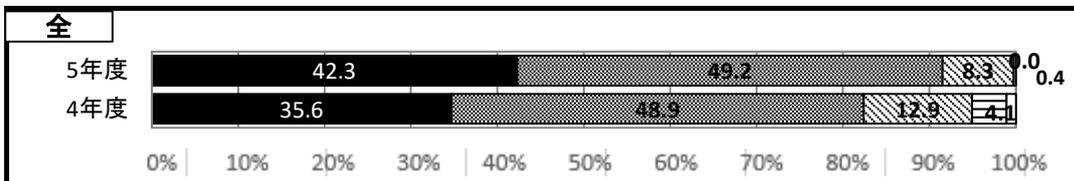


★家庭では、子供の家庭学習に取り組む様子を見守り、成長を褒めることで意欲の向上を図っている。(保護者)





③ 根小の子供たちは、元気よく挨拶をしたり、気持ちの良い返事をしたりすることができる。



<自分の考えを分かりやすく伝える> <分からないことを自分で調べる>  
<元気よく挨拶する、気持ちの良い返事をする>

今年度の重点目標は「自分の考えや思いを持ち自分なりに伝える子供の育成」でした。

項目①を見ると、約92%の児童が、自分の考えを分かりやすく伝えようと意識して学習活動に取り組んできたことがうかがえます。昨年度の約83%から9ポイントの増加です。また、項目②では、児童の評価は昨年度と同等の86%という結果ですが、教職員の評価は50%であることから、児童はChromebookの活用等で調べることに自信を付けてきているものの、教職員としては普段の学習の様子から一層の充実を図りたいという思いを持っていると考えられます。

昨年に引き続き今年度も、Chromebookや図書を用いた調べ学習、考えをまとめる学習に力を入れてきました。そのため、調べたことや自分の考えを発表することに慣れ、発表や考えの交流活動に苦手意識を持っていた児童も意欲的に取り組む姿が見られるなど、成果が見られています。また、言葉だけでなく図の活用など、より分かりやすく考えを伝えようと表現を工夫する姿も多く見られるようになりました。

しかしながら、要点を押さえたり、筋道立てたりして話すということについては、まだ課題が見られます。次年度は、情報機器の活用とともに必要な情報を捨捨選択してまとめたり、順序立てて話すなど、伝える力についても、向上できるよう指導していきたいと考えています。

★「子供の家庭学習に取り組む様子を見守り、成長を褒めることで意欲の向上を図っている。」に「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と回答した家庭の割合は95%を超えており、昨年度より5ポイント高い値を示しました。

また、★「家庭では子供と一緒に調べたり読書したりする時間を大切にしている。」に「あてはまる」「まあまあ当てはまる」と回答した割合は、約76%と昨年度から約11ポイント増加しています。ご家庭での見守りや寄り添いが、児童の意欲向上につながっています。引き続きお力添えをお願いいたします。

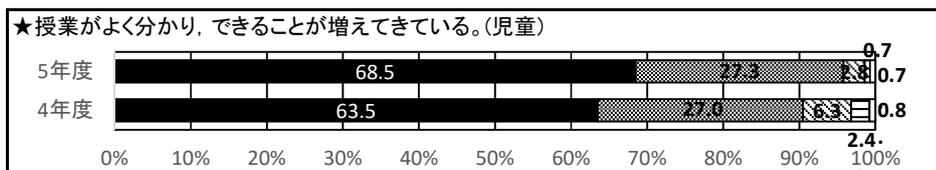
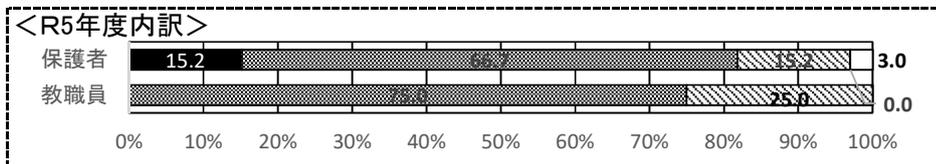
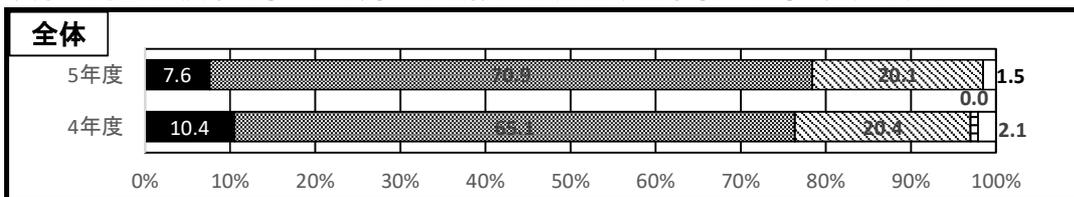
項目③の「元気よく挨拶する、気持ちの良い返事をする」については91%を超え、良い評価を得ています。昨年度と比較しても評価の数値は向上していますが、一方で、ここ数年の間に元気のよい挨拶が減ってきていると感じている地域の方や教職員もいます。実際に、挨拶に対する児童の反応については、個人差が大きいと感じられます。

近年の児童数増加による人間関係の希薄化やコロナ禍の生活を経ての挨拶習慣の変化等が原因として考えられます。学校では、教師から率先して挨拶をしたり、縦割り活動を継続したりすることで顔の分かる関係づくりに努めるとともに、児童会で話し合うなど子供たちへの意識化も図っていきます。家庭・地域においても、大人から積極的に声を掛けていただくことで、共に挨拶向上への取り組みを図っていきたくと考えています。

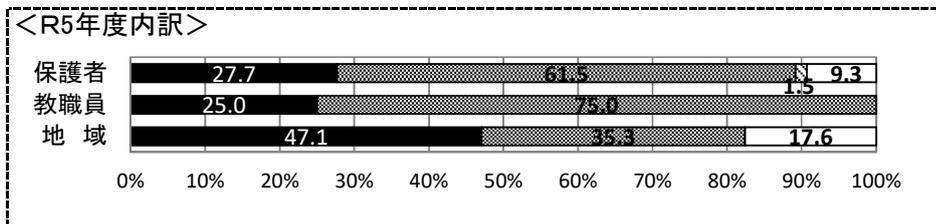
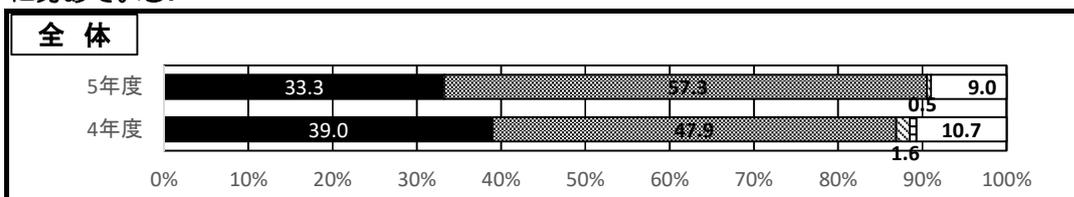
## 2 学校教育目標について

### (1)「進んで学びよく考える子」

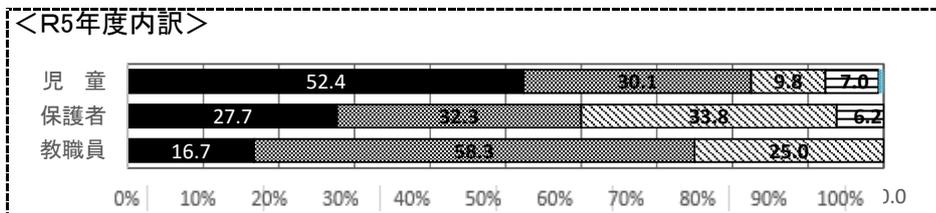
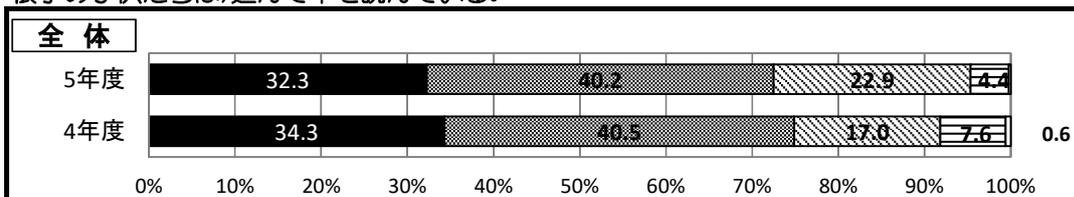
④ 根小の児童は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な学力が身に付いている。



⑤ 根白石小学校は、児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる、指導の工夫・改善に努めている。



⑥ 根小の子供たちは、進んで本を読んでいる。



## <基礎的・基本的な知識・技能の習得と指導の工夫><進んで読書をする>

項目④「根小の子供は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な字力が身に付いている。」では、昨年度より微増し、79%の回答者が「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と答えています。★「授業がよく分かりることができるが増えてきている。」に「当てはまる」と回答した児童は95%に上り、昨年度に引き続き分かる喜びやできる楽しさを感じながら学習している児童が多いことが分かります。一方では、「やや当てはまらない」「当てはまらない」「分からない」と回答した児童が4%おり、保護者と教職員も20%前後が同様に回答しています。授業での理解がテスト等においても知識の定着として現れるよう、習熟の取り組み方への工夫を継続し、すべての児童の習得を目指して指導していきたいと考えています。

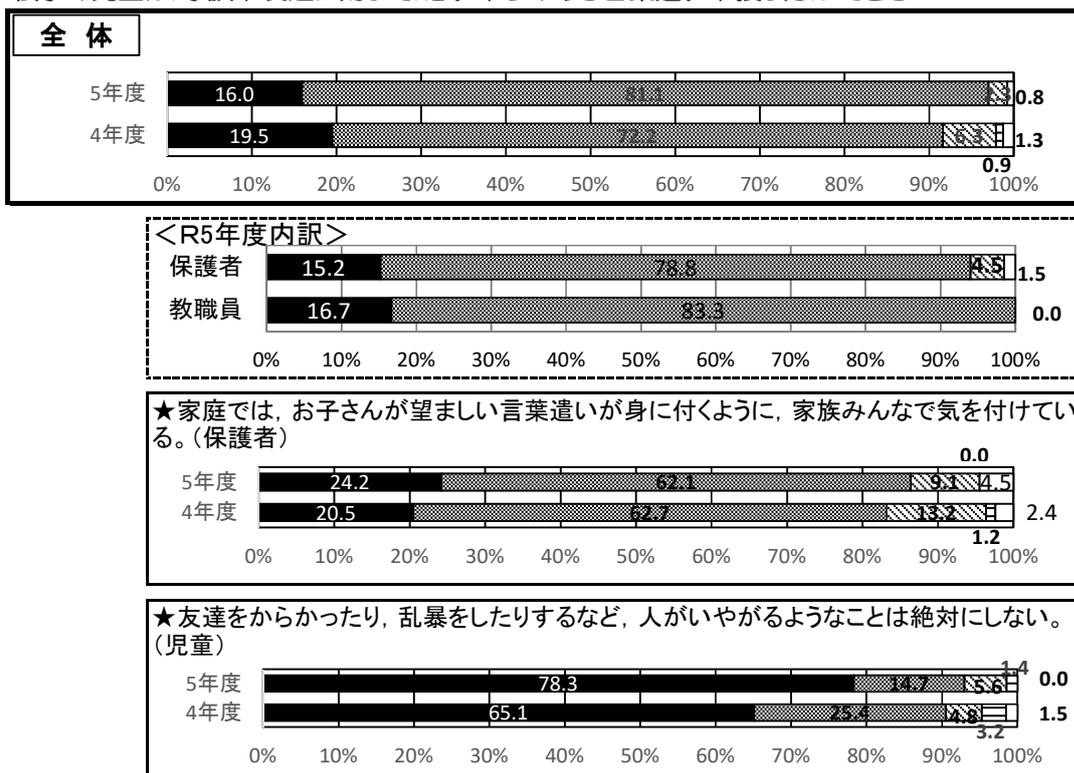
項目⑤「学校は児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる指導の工夫・改善に努めている。」では、90%以上が「当てはまる」「まあまあ当てはまる」との回答であり、学校の取り組みを地域や保護者の皆様にご理解いただいているものと受け止められます。

昨年度に引き続き今年度も、朝のスキルタイムにおいて習熟度に合わせた反復練習を行ったり、学習用アプリやデジタルドリルなどを導入したりして国語や算数などを中心に基礎基本の定着を進めてきました。また、児童の自主的な学習への取組を賞賛してきたこともあり、児童の学習への意欲や実感にもつながっていると考えています。こうした取り組みを地道に持続し、一層の力の定着につなげていくとともに、個に応じた学習の工夫や、授業改善に努めていきます。

項目⑥の読書については、教職員・児童と保護者との間で評価に開きが出ていることから、昨年度も課題として挙げられていましたが、昨年度と比較すると、児童は8ポイント、保護者は10ポイント回答の増加が見られます。今年度、学校では図書に触れる機会を意識して増やしてきました。また、夏休みの課題に読書カードに取り組んだり、休日に借りた本を読んだりするなど、家庭でも本を読む機会を増やしたことも成果に結び付いてきた要因と考えられます。次年度もこうした取り組みを継続し、すきま時間での読書の推奨、担任による読み聞かせや図書活用等、文字に触れる時間を大切にしていきます。また、学校での読書活動への取組を紹介したり、ご家庭での読書する時間を設定していただくなどしながら読書習慣の推進を図りたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## (2)「人にやさしくする子」

### ⑦ 根小の児童は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。



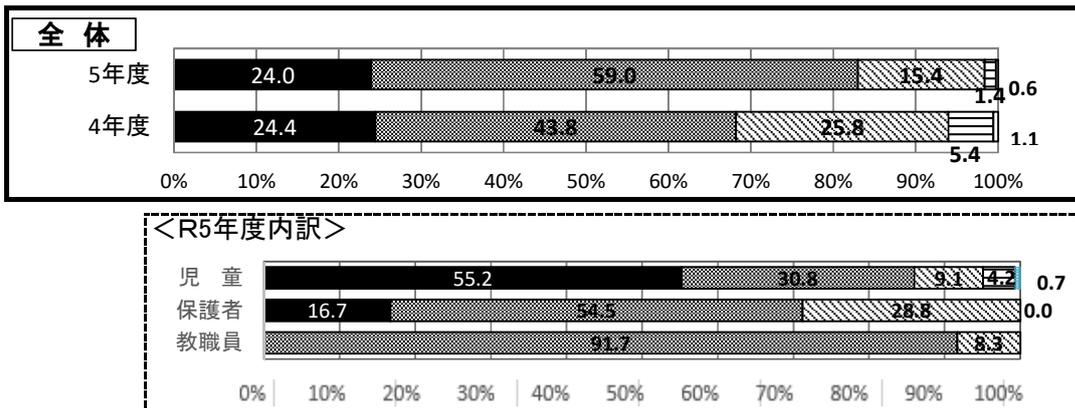
## <思いやりのある言葉遣い、行動>

項目⑦「家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。」では、約97%の回答者が「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と答えています。また、★「友達をからかったり、乱暴をしたりするなど、人がいやがるようなことは絶対にしない。」の質問に対して、93%の児童が「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と答えており、「できていない」と感じている児童も昨年度よりわずかに減少しています。子供たちの間で優しい言葉遣いや行動が増え、定着してきたと考えられます。

今年度は、たてわり活動や朝の活動、学校行事等で異学年交流なども積極的に行えるようになりました。互いの良さや頑張りを認め合いながら思いやりのある行動が多く見られます。関わりが増えることによりトラブルとなってしまう場面もありますが、ご家庭の協力もいただきながら、かかわり方を学べるように指導しています。次年度も引き続き、学校・家庭・地域で連携を図りながら、思いやりのある子供の育成に当たってまいります。

### (3)「自分に負けない子」

⑧ 根小の子供たちは、目標を持ち、最後まで諦めないでやり抜くことができる。



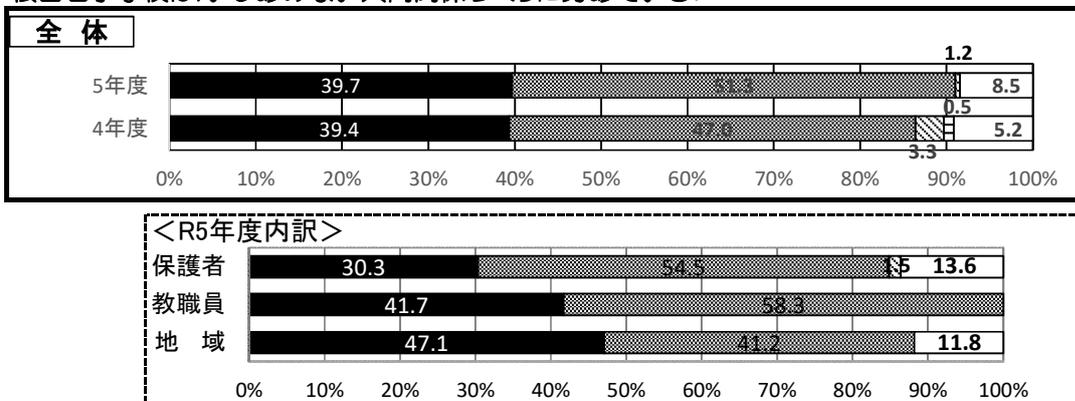
#### <目標を持ち、諦めないで最後までやり抜く力の育成について>

項目⑧「目標を持ち、最後まで諦めないでやり抜くことができる」については昨年課題に挙げられましたが、今年度は約83%の回答者が「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と答えており、肯定的な回答の増加が見られます。内訳を見ると、「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と答えている児童は約86%に高まり、保護者の回答は約71%と児童の回答より低い値ではありますが、昨年度の約50%と比較すると、20ポイント以上高い評価となりました。

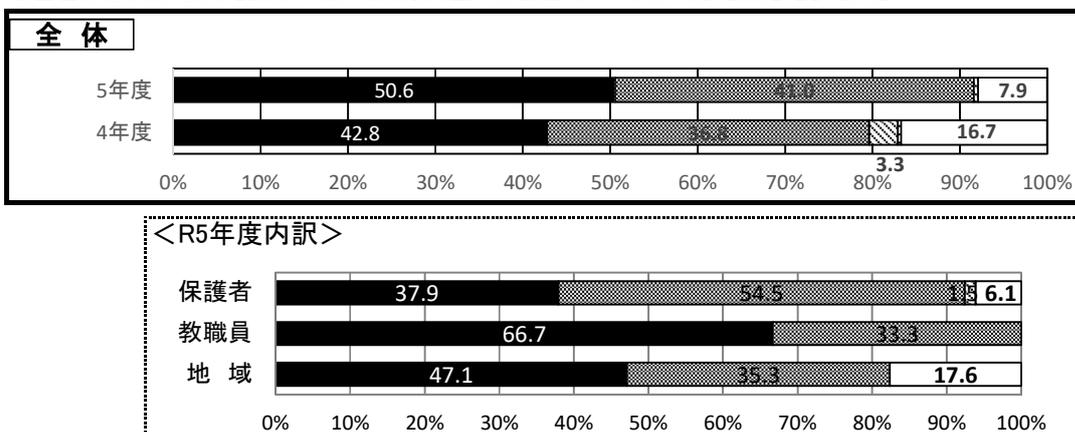
学校では、行事や日々の学習・生活において互いに良さや頑張りを認め合う機会を多く持ち、また自己肯定感や達成感を得られるような声掛けを多くの人からいただいた成果だと感じています。今年度は150周年としていろいろな活動を企画し、意欲的に楽しく活動できたことも一因と考えます。次年度も、自分の頑張りが成果を意識できるよう、日常の活動や行事において目標を持たせたり振り返りの場を確保したりしながら自己肯定感や達成感を得られるようにしていきたいと考えます。また、学級懇談会や学級便りの中で児童の頑張りを具体的に伝えることも継続して続けていきます。今後とも子供たちへの励ましのお声掛けをよろしくお願いたします。

### 3 「いじめのない温かい学校」について

⑨ 根白石小学校は、いじめのない人間関係づくりに努めている。



⑩ 根白石小学校は、教育相談が十分に機能し児童や保護者のニーズに則した対応をしている。



**<いじめのない人間関係づくり><教育相談とニーズに則した対応>**

項目⑨の「いじめのない人間関係づくり」については、91%の回答者が「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と評価しています。年4回の学校生活アンケートや児童との面談を通して、児童から丁寧に話を聞き取り、保護者とも協力をしながらいじめの発見と問題の解決に努めてまいりました。解決に向けて、ご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。本校は、保護者の皆様、地域の皆様のご協力もあり、児童にとっての居場所があり、安心して生活できる学校となっています。今後も、子供たちが互いの良さを認め合い、一人一人が持てる力を十分発揮できるような温かな学級・学校づくりを一層推進していきます。

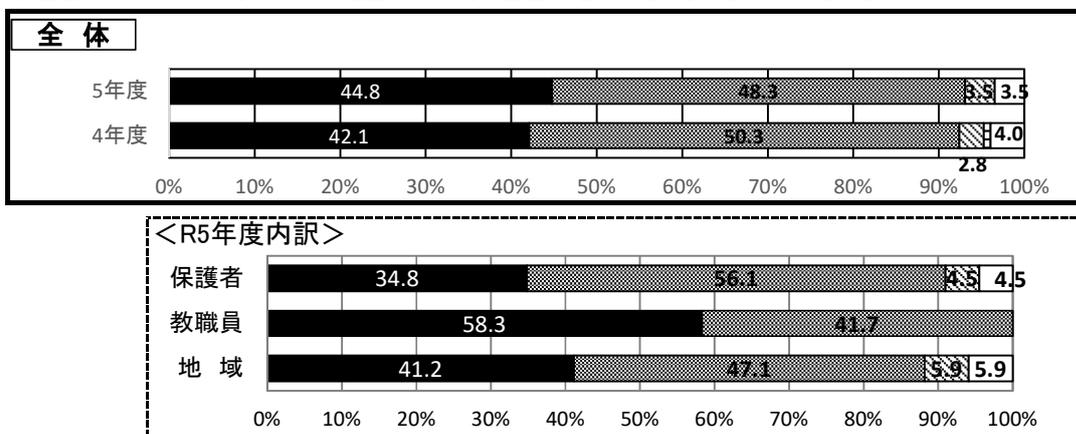
項目⑩の「教育相談とニーズに則した対応」については、「当てはまる」「まあまあ当てはまる」の回答の割合が約92%と昨年度より10ポイント以上高まりました。お子さん一人一人の成長を見守り、必要に応じて個別に相談を行ってきた学校の取組が伝わり、高い評価をいただきました。来年度も、引き続き、お子さんや保護者の皆様の悩みをうかがい、一緒に考え、よりよく成長できるように共に取り組んでいきたいと思っております。

また、項目⑨⑩の「よく分からない」の回答についても少しずつではありますが、改善されています。今後も、いじめの未然防止に向けた取組の周知やより相談しやすい学校を目指していきたいと思っております。

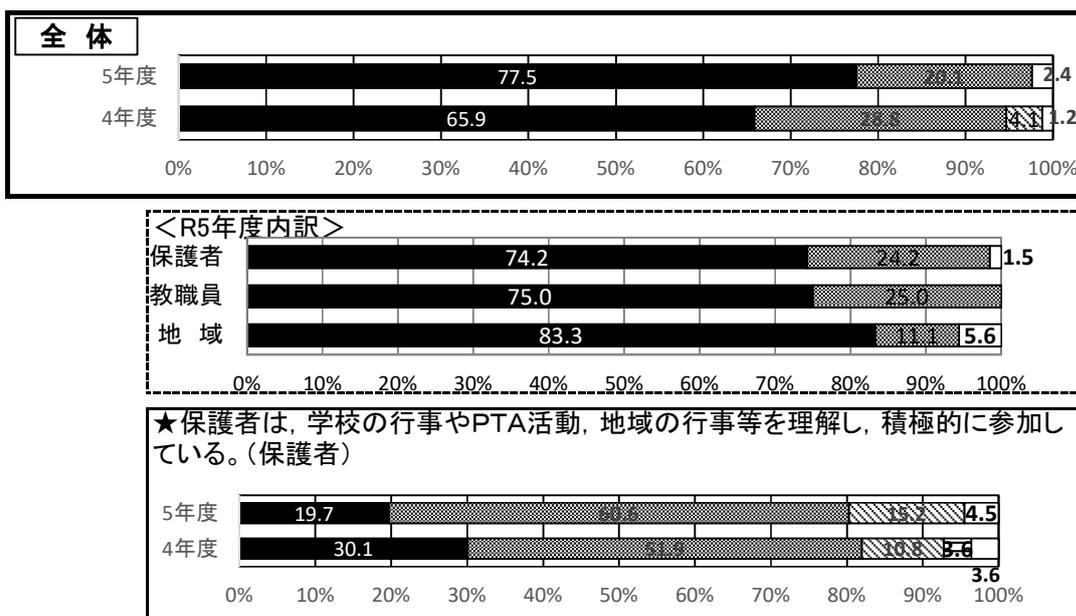
学校における教育相談の窓口は教頭ですが、担任や養護教諭、特別支援コーディネーターにお伝えいただくこともできます。また、本校の教員だけではなく、スクールカウンセラーや関係機関との相談もできますので、いつでも気軽にお声掛けください。

**4 地域と共に歩む学校**

⑪ 根白石小学校は、教育方針や教育活動について保護者や地域に分かりやすく伝えている。



⑫ 根白石小学校は、行事などの教育活動を通し、各団体(PTA、育成会、アセ踊り保存会、市民センターなど)との連携を図り、地域に開かれた学校づくりに努めている。



## <分かりやすい情報発信>

項目⑩の「教育方針や教育活動等の分かりやすい情報発信」については、約93%の方に「当てはまる」「まあまあ当てはまる」という回答をいただき、おおむね良好であると言えます。

今年度も昨年度同様、学校の教育方針や学校便り等の文書とともに、学校ホームページのブログを充実させ、毎日の児童の授業の様子や地域と連携した教育活動の様子を詳しくお伝えしてきました。そして、授業参観・懇談会も年間を通して実施することができ、多くの皆様に足を運んでいただきました。また、今年は5・6年生がアセ踊り、3・4年生が大正踊りを地域のおまつりで発表し、また5年生の米作りの学習の一環で地域の催事に有志が参加することを通して、学校での取組を地域の皆様にも発信することができました。地域の皆様には、学校の教育活動に興味・関心を持って関わってくださっていることに深く感謝申し上げます。

次年度も、引き続き保護者や地域の皆様に分かりやすい情報の発信に努めます。また、緊急の場合には、一斉メール配信も行い、迅速に対応してまいります。

## <地域に開かれた学校づくり>

項目⑫「地域に開かれた学校」に関しては、毎年高い評価をいただいています。今年度の「当てはまる」「まあまあ当てはまる」の回答は約96%となっており、大変高い評価となりました。皆様のご協力に大変感謝しております。

今年度は、アセ踊り保存会や大正踊り保存会の皆様を始め、保護者・地域のボランティアの皆様によくの学習活動にご協力いただき、大変充実した教育活動を進めていくことができました。大変お世話になり、ありがとうございました。次年度も、学校の明確な教育方針の下、総合的な学習の時間等のカリキュラムに基づいて児童の自発的な取組を喚起しながら、より地域に主体性を持って関わられる教育活動を進めていけるよう、地域との連携を深めてまいります。

★「保護者は、学校の行事やPTA活動、地域の行事等を理解し、積極的に参加している。」の質問に対しては昨年度をわずかに下回る約80%の皆様に「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と回答いただきました。今年度は、PTA活動も予定通りの実施ができました。夏休みのプール開放事業も行うことができ、多くの児童が楽しむことができました。さまざまなアイデアを出しながら実施していただいた学年行事や保体安全委員会のモルック大会も大変盛り上がりしました。また、広報委員会では、広報誌「大地」や文集「根っこ」を150周年記念誌として、根白石小のよさや児童・保護者の皆様の温かさの伝わる内容にまとめていただきました。皆様のご理解とご尽力に誠に感謝いたします。次年度も保護者・地域の皆様との連携し、充実した教育活動を進めていきたいと思っております。

今年度の教育活動も皆様のご理解・ご協力もいただきながら実施をすることができました。誠にありがとうございました。皆様に支えていただくことで児童同士の関わりが多く生まれ、校内だけでなく地域の中で伸び伸びと力を発揮する姿が見られるようになっていきます。

ここ数年コロナ禍での制限された生活が長く続いたことによって、著しい発達過程にある児童を取り巻く環境や意識、抱えている課題も変化してきていると感じております。保護者の皆様、地域の皆様からいただいたご意見をもとに、学習・生活両面において根白石小学校の児童が心身ともに健やかに成長できるよう、計画・実施をしていきたいと思っております。今後も本校の教育活動にご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。